

活力ある経営で地域と企業を元気に！共に成長し、支え合う社団を目指す！

# F<sup>MAK</sup>

## Future Management Network

Visionbook

2025 Jan



# “元気な経営”を倍増！

# F-MaKってどんな組織？

What kind of organization is F-MaK?

## 【会社名】

一般社団法人 未来経営倍増ネットワーク

## 【略称】

F-MaK(エフマック)

Future Management Network

## 【所在地】

名古屋市中区錦1丁目6番地17号オリジン錦2F

## 【設立】

2024年11月11日

## 【会員】

正社員 7会員

パートナー会員 2会員

## 【定款目的】

中小企業の業績を向上させ、  
存続並びに発展させることを目的とする

## 【理事】

代表理事 松井 孝知

理事 曾我 達郎

理事 長谷川 英輝

理事 長尾 哲也

理事 天野 賢治

理事 和仁 陽平

## 【幹事】

幹事 前田 篤

## 【社員】

愛知県一宮市森本2丁目26番5号

株式会社ベストフレンド・コンサルティング

愛知県小牧市中央5丁目203番地

株式会社MIRAISM

愛知県岡崎市緑丘2丁目2番地11号

ブルーウィング税理士法人

岐阜県高山市西之一色町3丁目678番地

MMPCコンサルタンツ株式会社

愛知県一宮市千秋町佐野字白山485番地31号

株式会社未来インフラ五緑

岐阜県本巣市文殊1295番地6号

Perch(パーチ) 小寺 隆史

愛知県名古屋市西区幅下二丁目10番地3号

ダイアパレス三の丸西1503号

モデラトゥス 前田 篤

## 【パートナー会員】

・株式会社日本M&Aセンター 伊藤 泰之

・一般社団法人経営支援機構 代表理事 萩原 正英



# F-MaKを支えるメンバーの強み！

## Support

### 税理士法人ベストフレンド

会社設立・創業支援に特化し、企業をサポート。成長する若手経営者・創業経営者を多方面で支援する税理士事務所です。

## Vision

### MMPCコンサルタンツ株式会社

税務・財務・財産コンサルティングを提供。コンサルティング受賞プログラムに参加し、経営革新等支援機関推進協議会TOP100(2024)に選出されています。

## Team

### 株式会社MIRAISM

得意分野の異なる「専門家集団」がチームワークを生かして質の高いサービスを提供。特に相続税・事業承継・組織再編といった特殊な業務を強みにしています。

## Collaboration

### 株式会社未来インフラ五縁

関わる人のありたい姿を自分事ととらえ、実現するためのプロセスとなり、一緒に成長していくパートナーを提供。「協力者を巻き込む組織作り支援」

## Partner

### ブルーウィング税理士法人

税務、財務、労務、事業承継といった領域の専門家がグループに在籍しており、ワンストップでお客様の課題解決を支援します。

### Perch(パーチ) 小寺隆史

経営計画作成支援を通じて、お客様と共に悩み考え、経営計画達成に向けて行動します。補助金・助成金支援も強みとして、各種手続きの支援を行っております。

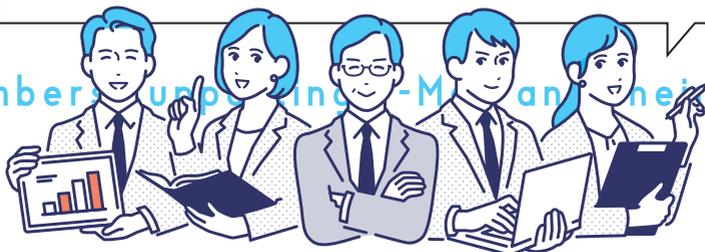
## One-stop

### 前田篤(モデラトゥス税理士法人)

freee会計やbixid等のITツール導入を通じて経営数値のリアルタイム化、見える化を実現できる体制づくりを得意としています。

IT-driven

Members supporting various management roles





# [ 立ち上げ宣言 ]

日本の企業の99%は中小企業。

その7割が新たな成長戦略を描くことができず、赤字で苦しんでいると言われています。

もし、私たち会計人が企業の経営改善のお手伝いができたら……との思いで  
(株)日本BIGネットワーク(Ja-BIG)に加盟し、「中小企業を一社も倒産させない仕組みを創る」  
という使命感のもと、地域で未来会計に取り組んできました。

しかし、2020年からのコロナ禍を経て、中小企業の課題が多様化してきました。

- 1.資金繰りの悪化
- 2.バックオフィスのDX化
- 3.事業承継難に伴う地域間M&A等
- 4.事業の再構築、売上伸び悩み等

一方で、会計事務所側としても、経営支援担当者の不足やリソースの不足などにより  
顧問先の課題に対応できない悩みも多く聞いてきました。

そのような環境の中で、仲間達(会計事務所)と意見交換を行い、  
私たちがたどり着いたのが、社会的インフラとしての協働と共創です。

具体的には、個々(1事務所単位)の力(ノウハウ・成功事例)を結集するという  
「独立した個の協働」と、会計事務所間でのノウハウを結集した「共創」を行うことにより、  
新たな可能性を発掘し、中部をより持続可能な地域にしていきます。

共に歩み、共に成長するために、  
「未来経営倍増ネットワーク」を立ち上げることにします。

社団名  
一般社団法人 未来経営倍増ネットワーク

略称名  
F-MaK (エフマック)  
Future Management Network

何を表しているの？

# [ F-MaKロゴの説明 ]

## 共創の力で、確実な成果を目指すパートナーシップ

このロゴは「コンパス」と「カラフルな五角形」を組み合わせ、F-MaKの理念を表現しています。コンパスは長期的な経営ビジョンを掲げ、進むべき方向を示し、五角形は提携会社の個性と強み、そして一丸となってクライアントを全力で支援する姿勢を象徴しています。



クライアントの  
悩みやお困りごとを



多様な提携企業が  
支援し一丸となって



長期的な経営ビジョンを掲げ  
クライアントを成功へと導くF-MaK

## 五角形

それぞれの要素が頂点に配置され完全な形との考えから「邪気の入り込む余地がなく、それぞれが巧みに関わり合うことでさまざまな現象を作り出し成功に導く。」出会いとご縁を象徴し、「万能」や「成功」を意味する形として、F-MaKの多様な連携と確かなビジョンを強調しています。「五」は五藤先生の五からもきています。

## ポジティブなカラーリング

「新しさ」と「信頼感」を重ね備えたデザインで、クライアントを成功へ導く姿をシンボル化しました。

黄色をクライアントとみため、多様な提携企業が支援し一丸となって、長期的な経営ビジョンを掲げクライアントを成功へと導くイメージとなっています。

# 存在意義と未来への道筋



## 01 MISSION

何のために

### 我々に与えられた「やるべきこと」

未来経営を通して、元気な経営者が倍増し、働く社員やその先の若者が描く未来がワクワクする環境を、我々が共創することで、貢献する。

## 02 VISION

将来像

### 我々が目指す「あるべき姿」

未来経営を軸として経営の仕組みを共創するために、ナレッジをシェアし、スター選手を自動的に輩出するエコシステムを構築できていること。

## 03 MODEL

誰を

### 我々が共に歩む「人々」

未来経営を望み、「社会」と共に成長したいと思う経営者。

## 04 VALUE

価値

### 我々が大切にする「価値」

一緒に歩んでくれるパートナー、経営の仕組みづくり支援。

# 私たちの 5年後

F-MaKは  
5年後、  
どうなっ  
ているのか？



## (1)スタイル

1. **協働と共創**の具現化ができている状態を目指します。
2. 具体的には、共同作業を行い、新たな価値やアイデアの創出を行っている状態を目指します。
3. 目的を効率的に達成するための手段と、新しいゴールや成果を生み出すプロセスということです。
  - 共通のビジョンを共有する
  - 対等な関係を築く
  - オープンなコミュニケーション
  - 柔軟な発想と対応力
  - 実行と改善、検証

## (2)事業領域

- ①未来経営コンサルティング
- ②事業承継コンサルティング
- ③DX推進コンサルティング
- ④組織支援コンサルティング
- ⑤イベント開催事業

# 戦略分析の全貌 analysis

## 3C、KSF、バリューチェーン

3C、KSF、バリューチェーンは、ビジネス戦略を考える上で欠かせないフレームワークです。それぞれが異なる視点から事業環境を分析し、競争優位を築くための道筋を示してくれます。3Cでは市場・競合・自社の全体像を把握し、KSFでは成功のための重要な要素を抽出、さらにバリューチェーンで価値創造のプロセスを具体化します。この3つを一体的に活用することで、戦略の精度を高め、確実な成果を導くことができます。各フレームワークの特性を理解し、適切に組み合わせることで、事業の可能性を最大限に引き出しましょう！

## ・ 3C分析

### (1) Customer

中部地区の経営者。持続的な成長を目指しており、組織・業務面での改善施策と一緒に歩んでサポートを求めている方。また、昨今の社会的ニーズである賃金アップのために業績を改善したいと思う経営者が倍増中。

### (2) Competitor

中部を代表するコンサル型会計事務所

### (3) Company

未来経営の先駆者的な会計事務所とパートナーコンサルのメンバーが揃った中部初の集団

## ・ KSF

- ・中部初の共創集団
- ・中部での未来経営実績No.1
- ・優秀な人材によるMAS監査手法

これらのファクターにより、F-MaKのプロダクトは明確に唯一無二なものとなる。プロダクトが唯一無二である期間にPRと実績を作り、「未来経営倍増=F-MaK」というブランドを確立することで、市場のシェアを獲得し、次のステージへと行く。

# ・バリューチェーン

## (1) 調達

AIデータベースをAIVO(相棒)と名付けて、社内チャットGPTを構築し、ノウハウを全て覚えさせ、若手が検索できる環境を作り上げる。

いつでもコンサルツールを調達可能。



## (2) 製造

各事業である

- ① 未来経営
- ② 事業承継
- ③ 生産性向上
- ④ 特化セミナー(ビジネスモデル構築)
- ⑤ 組織化支援への取り組みと各委員会を通して、ナレッジをシェア出来る。

若くて優秀な人材に育つ。

## (3) 流通

フロント業務として社団が請負い、バックエンドとして会員事務所がコンサル業務を行う。

## (4) マーケティングと販売

デジタルを活用したPRにより、今までにない拡散力での認知獲得。

## (5) サービス

優秀な人材と優秀なパートナー会員の人材による共創で、顧客提供価値の増大を作り上げる。

## 01 未来経営



未来経営は、未来会計と理念経営を掛け合わせた造語です。未来経営は、中小企業が本当に「ありたい姿」を描き、そこから逆算してPDCAサイクルを回す経営手法です。従来のPDCAサイクルとの大きな違いは、

・参画するメンバーと、自社の活動の社会的意義を振り返りながら、ワクワクするような未来を共有すること

・ITを活用し、リアルタイムなデータで目標達成度合いを把握すること

にあります。これにより、変化への対応力とメンバーのモチベーションを高め、持続的な成長を目指します。



## 02 わたしたち



未来経営をサポートする、会計・財務・労務のコンサルティングのプロフェッショナル集団です。

より良い未来のために、互助の精神・相互尊敬を大事にしながら、変化に挑戦し続けます。



## 03 ナレッジシェア

それぞれが持つノウハウや、それぞれの立場における経験や価値観を惜しみなく共有する事です。



## 04 共創

ナレッジをシェアし、F-MaKによるナレッジの整理、体系化を経て大小問わないイノベーションを起こす事です。



## 05 エコシステム

シェアされたナレッジや、共創によって生み出されたイノベーションを体系的に整理し、容易にアクセスできるようにする事で、F-MaKメンバーが自立して研鑽できる仕組みを指します。



# 私たちの共通言語

Common Language

## 06 社会

世界や国単位だけではなく、自治体、会社、家庭や友人関係など、未来経営に携わる方々それぞれの価値観の単位で存在し、定義します。



## MAS監査 08

「MAS=Management Advisory Service」  
未来経営をサポートするサービスの事です。



## 経営の仕組みづくり支援

事業運営の効率化と、リアルタイムの経営数値の取得が可能な組織編成、ルール作り、ITシステムの導入を支援する事です。



## 10 DX

ITツールの導入や、導入による効率化のみではなく、ITツール導入により可視化されたデータを活用して、イノベーションを起こす事です。

## 09 所得倍増の意義

会社や経営者のみでなく、利害関係者全体の幸福を目指す事、また所得倍増により社会で循環するお金が増えることで、より幸福が増大する事です。



## 我々の対話 11

お互いの価値観を尊重しながら、一旦制約条件を度外視して自由な発想で対話します。



# 未来経営チーム

**【テーマ】** 未来会計と理念経営の標準サービスモデルの確立  
～「今」と「未来」両面からのアプローチ～

**【課題】**

- ① MAS監査は特別なスキルがいると感じる
- ② MAS監査がフワッとしていて定義化が出来ていない
- ③ 巡回監査に代わるプラットフォームの商品開発

**【目的】**

- ① F-MaK「MAS監査」の商品定義
- ② 職員がすぐ実践できるMAS業務を目指したデータベース化
- ③ MAS監査等の名称を考え、独自のサービスをブランディング化

**【行動目標】**

MAS検討会を通じて、一年以内に

- ① F-MaK「MAS監査」の商品定義を確立
- ② 職員がすぐ実践できるMAS業務を目指したデータベース化
- ③ MAS監査等の名称を考え、独自のサービスブランディング化を形にするために、ミーティングを重ね、ホームページでの表現をゴールとする

**【リーダー】** 天野(未来インフラ)

**【会議開催】** 『未来経営検討会』(MAS、事業承継、組織設計、生産性向上、財務診断)  
→課題抽出と解決提案

**【広告戦略】** ホームページ

**【教育体制】** 新人会 ～戦力化マップの完成と運用～

**【協働・共創】** 高付加価値MAS委員会

# 事業承継チーム



**【テーマ】** 「事業承継コンサルティング」の形式化とその展開

**【課題】**

- ①経営者が「承継をやっていききたい」となった際に、実行サポートしていくサービスが必要
- ②サポートが用意できないとキッカケだけで終わってしまうこと

**【目的】**

- ①顧問先及び潜在顧客の事業承継に関する情報提供とコンサルティング支援のキッカケづくりを行うこと
- ②他の事務所のメンバーを増やし、事業承継に知見のあるメンバーを育成

**【行動目標】**

- ①ノウハウを共有し事業承継支援サービスの「標準化」を行う。
- ②イベント開催企画「承継の日」をブランディング
- ③「承継の日」を約2か月ごと 共同開催 オンライン主体で開催
- ④銀行連携：金融機関職員 及び 会員事務所職員向け合同研修会の開催（候補先あり）
- ⑤フロントで獲得できた案件を共同支援or各事務所単位で振る。（今後、協議して決定）

**【リーダー】** 江ノ上(MMPC) 顧問：長谷川先生(北斗)

**【会議開催】** 月一回

**【広告戦略】** ホームページ

**【教育体制】** 3サークルモデル(事業承継のノウハウの勉強と形式化)

- ①経営の承継
- ②株式の承継
- ③ファミリー調和

**【共創】** 高付加価値MAS委員会  
事業承継の適切なスキームを提案できるような後継者の育成  
日本M&Aセンター様



# 生産性向上チーム

**【テーマ】** 各事務所のDX化の促進と  
AIデータベースAIVO(相棒)の構築

**【課題】** ①DX人材の業務リソースの不足  
②どのように体制整備していいかわからない

**【目的】** デジタルを活かしたサービスやデータベースを基に顧客に新しい価値を  
もたらすこと

**【行動目標】** ①動画コンテンツ(Loom)マニュアルデータベースの公開  
②Q&A持ち寄り会  
③事例発表会(DX委員会兼ねる)

**【リーダー】** 前田(モデラトUSS) 顧問:松井理事長(MMPC)

**【会議開催】** 月二回定期MTG・DX委員会準備&施策進捗管理・施策作業

**【広告戦略】** ホームページ

**【教育体制】** DX委員会

**【協働・共創】** AIデータベースAIVO(相棒)の構築のためにコンサルティングツールの収集

# イベント構築チーム



**【テーマ】** 社団として「一貫性のあるイベント」の構築

**【課題】** ①イベントのコンセプトなどがなく、セミナー開催が目的になる

**【目的】** ①フロント業務(主催と共催)  
②小さなセミナー(困り込み)  
③コミュニティ作り ……フロント業務の仕組み化

**【行動目標】** ①新春セミナー企画(広報)  
②フロント業務企画(実務)  
→ (1)12月まで企画確定 (2)1月までにスケジュール化 (3)担当貼り付け  
③技研サービス企画→2月から

**【リーダー】** 和仁(MMPC) 顧問:荻原先生

**【会議開催】** 月一回

**【広告戦略】** ①Webマーケティング ②金融機関 ③紹介

**【教育体制】** 講師の持ち回り

**【共創】** ①パートナー企業とのコラボ  
②各チームとのコラボ



# 組織化支援チーム

**【テーマ】** 組織づくりの「人」に関する  
トータル支援サービスの確立

**【課題】**

- ・中小企業の経営者のほとんどが人の課題で悩んでいる
- ・中小企業は人に対する制度が確立されていない
- ・人の課題に対して、個人スキルで部分対応している事務所が多い

**【目的】**

『魅力ある組織づくりのトータル支援』

- ①組織デザイン設計
- ②課題の優先順位づけ
- ③優先順位の高い課題着手
- ④PDCA(軌道修正)

**【行動目標】**

- ①全体像のイメージ共有
- ②商品設計とコラボ企業の選定
- ③広告活動
- ④階層別のコミュニティーづくり

**【リーダー】** 柴垣(北斗)

**【会議開催】** 月一回定期MTG  
進捗管理&勉強会

**【広告戦略】** ホームページ

**【共創】** 高付加価値MAS委員会  
ツール作成企業とのコラボ(エンゲージメント、研修会社)

**【パートナー】** 社会保険労務士  
ツール作成企業(エンゲージメント、研修会社など)



未来インフラ

